

障害者更生相談の手引

第 1 分冊

－ 補装具 －

千葉県中央障害者相談センター
千葉県東葛飾障害者相談センター

令和 7 年(2025 年) 8 月

ver.2025

ver.2015.3.1.0 平成27年3月31日発行

ver.2022 令和4年11月発行

- 1) p41 6補聴器 (3)イ
補装具の種目、購入等に要する費用の額の算定等に関する基準 第13次改正(令和4年3月31日厚生労働省告示第129号)にて補聴器備考欄の記述のうち「FM型受信機」が「受信機」に、「FM型用ワイヤレスマイク」が「ワイヤレスマイク」に変更されたことに伴い、「FM型補聴システム」を「ワイヤレス補聴システム」に変更
- 2) 以下の様式例について新書式に改訂
p63 補4 医学判定記録(肢体不自由)「医療機関名」追加
p75 補6-2 適合状態確認票【補聴器】「補聴器名称」配列変更
p77 補6-4 適合状態確認票【重度障害者用意思伝達装置】「納品日」追加等
- 3) p92 付録4 人工内耳用音声信号処理装置修理について
「補装具費支給制度に人工内耳用音声信号処理装置の修理が加わりました」を新設
- 4) p48 (4) ア (イ)必要書類に「g 写真」を追加

ver.2024 令和6年8月発行

厚生労働省告示等が大幅に改正。以下に主な改正点を示す。

- 1) 種目の分類変更 (ver.2025 の記載を参照)
- 2) 「指針(p3～)」第2 具体的事項中、主に以下項目が新設を含め内容変更された。
 - 1 (2) 障害児に対する電動義手(新設)
 - 1 (4) 特例補装具費
 - 1 (6) 支給対象となる補装具の個数
 - 1 (9) 差額自己負担(本書様式例 補12 新設)
 - 2-3 難病患者等に対する事務処理
- 3) 告示等改正により、本書「概要」、「各論」、「様式例」の大部分を改訂

ver.2025 令和7年8月発行

厚生労働省告示等が大幅に改正。以下に主な改正点を示す。

本書 p96(備考)の厚労省ウェブサイト「福祉用具」より、p95-96 の「基準」、「指針」、「要領」、「完成用部品」を入手すると情報共有に有効

- 1) p9 他

種目名及び分類の変更 * 下線部が令和7年度、それ以外は令和6年度変更

新	旧
(1)義肢一般構造義肢 (2)義肢一骨格構造義肢 (3)装具(オーダーメイド) (4)装具(レディメイド) (5)姿勢保持装置 (6)車椅子(自走用、介助用) ①モジュラー式 ②オーダーメイド式 ③レディメイド式 (7)電動車椅子(標準形、簡易形) (8)その他 補聴器 重度障害者用意思伝達装置 <u>車載用姿勢保持装置</u> 他	(1)義肢一般構造義肢 (2)義肢一骨格構造義肢 (3)装具 (4)座位保持装置 (5)その他 補聴器 車椅子(普通型、手押し型) ①オーダーメイド・モジュラー方式 ②レディメイド 電動車椅子(普通型、簡易型) 重度障害者用意思伝達装置 <u>座位保持椅子(児童に限る)</u> 他

備考

令和6年度までの「座位保持椅子」と「頭部保持具」の削除に伴い、「車載用姿勢保持装置」が新設され、「児童に限る」とあった対象制限も削除された。なお、頭部の保持が必要な場合は姿勢保持装置の「頭部支え」(製作要素価格 支持部 頭部)の加算が可能となった。

- 2) p12 資料 4 特例補装具と一部特例の扱いについて を新設
「指針」p5 に「一部特例」が新設され、基準内の補装具と特例補装具の扱いについて定義されたこと及び、車椅子・電動車椅子の市販のクッション及び重度障害者用意思伝達装置の市販のスイッチについて、数に含めない「一部特例」として扱うよう定義されたことに伴う改訂
(関連情報:「要領」p56、p80)
- 3) p41 6補聴器 (3)イ他
「重度難聴用耳かけ型で受信機、オーディオチュー、ワイヤレスマイク」(当所呼称「ワイヤレス補聴システム」)から「耳かけ型で補聴援助システム」への変更に伴い該当箇所を改訂
(「基準」p68)
- 4) p46 重度障害者用意思伝達装置の分類、文字等走査入力方式の分類に(注)を追加
(「要領」p80)
- 5) その他
様式例を告示等の改正や社会の趨勢に合わせ改訂(p56、p70、p72、p80)
様式例の誤字等を修正(p66、p77)

【 目 次 】

第1章	概要	－ 補装具費支給制度の概要と補装具判定事務手続について －	
1	補装具とは	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2	費用負担の比率	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3	補装具費支給事務の流れ	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
4	補装具の判定とその種類	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
5	種目別判定区分	・・・・・・・・・・・・・・・・	4
6	判定依頼時の必要書類	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
7	面接判定の流れ	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
8	訪問判定	・・・・・・・・・・・・・・・・	6
9	補装具費支給意見書を作成する医師の要件	・・・・・・・・	6
10	補装具の個数	・・・・・・・・・・・・・・・・	6
11	耐用年数及び使用年数（耐用年数等）	・・・・・・・・	7
12	差額自己負担	・・・・・・・・・・・・・・・・	7
13	修理基準に規定されていない修理の取扱い	・・・・・・・・	7
14	特例補装具	・・・・・・・・・・・・・・・・	7
15	治療用と更生用について	・・・・・・・・・・・・・・・・	8
16	他制度との関係・優先順位	・・・・・・・・	8
17	その他	・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	資料1	補装具費支給判定事務具体的種目一覧	9
	資料2	社会保障制度間の選択優先順	10
	資料3	介護保険対象者	11
	資料4	特例補装具と一部特例の扱いについて	12
第2章	各論	－ 各補装具の取扱い －	
1	車椅子	・・・・・・・・・・・・・・・・	14
2	電動車椅子	・・・・・・・・・・・・・・・・	19
3	姿勢保持装置	・・・・・・・・・・・・・・・・	23
4	義肢	・・・・・・・・・・・・・・・・	27
5	装具	・・・・・・・・・・・・・・・・	33
6	補聴器	・・・・・・・・・・・・・・・・	39
7	重度障害者用意思伝達装置	・・・・・・・・	45

第3章 様式例集

補1	判定依頼書 一般	53
補2-1	面接記録票 肢体不自由・内部障害	54
補2-3	面接記録票 補聴器	56
補2-4	面接記録票 重度障害者用意思伝達装置	58
補3-2	補装具費支給意見書 補聴器	60
補3-4	補装具費支給意見書 重度障害者用意思伝達装置	62
補4	医学判定記録 肢体不自由	63
補5-1	処方箋 義手	65
補5-2	処方箋 義足	66
補5-3	処方箋 下肢装具・靴型装具	67
補5-4	処方箋 姿勢保持装置	69
補5-5	処方箋 車椅子・電動車椅子	71
補6-1	調整内容記録票 補聴器	73
補6-2	適合状態確認票 補聴器	75
補6-3	適合状態確認票 肢体不自由	76
補6-4	適合状態確認票 重度障害者用意思伝達装置	77
補7-1	電動車椅子調査票(1)	78
補7-2	電動車椅子調査票(2)	80
補8	補装具訪問判定補助調査票	81
補9	特例補装具理由書	82
補10	取下書	83
補11	修理申請チェック票 医療保険等用	84
補12	補聴器差額自己負担要望書兼補聴器試聴結果	86
様式例第6号	補装具費支給意見書	87
付録1	補装具費支給意見書作成のリーフレット(補聴器)	88
付録2	補装具費支給意見書 補聴器(記載例)	90
付録3	書類判定依頼事前チェックリスト 補聴器	92
付録4	人工内耳用音声信号処理装置修理について	93
付録5	出典等一覧	95

